

①個別データシート

種類 加工

英名 dyeing processing of fabrics

整理番号: JP207012

分類 繊維工業品

和名 綿・ポリエステル反物の染色加工プロセス

・GHG排出量 7.22E+00 kg-CO₂e/kg

・情報源分類 その他調査データ

・技術記述子 綿・ポリエステル反物の染色加工

・技術の内容と機能 綿・ポリエステル反物の染色加工
前提:生地幅(150cm)、目付/m²(0.215kg)の反染(浸染)工程を前提とし、精錬、漂白、マーセライズ、ヒートセット、染色、毛焼き、仕上げまでを対象としている。
染色業界の標準的な数値。
* 入力の水量の5%が飛散するとして、排水処理は入力水量の95%としている。

繊維製品(衣料品)のLCA調査報告書 経済産業省製造産業局 繊維課(有限会社産業情報研究センター),(2003),資料編 p22
資料14 ④綿・ポリエステル(s)反物の染色

・データ作成者コメント

経済産業省製造産業局 繊維課(有限会社産業情報研究センター):“繊維製品(衣料品)のLCA調査報告書 資料編”,12,(2003), p22, ④綿・ポリエステル(s)反物の染色 に掲載されている入出力データを引用して、原材料の入力を除外して反物染色プロセスの原単位を作成した。

・適用範囲

綿・ポリエステル反物の染色加工工程を対象としており、生地幅(150cm)、目付/m²(0.215kg)の反染(浸染)工程を前提とし、精錬、漂白、マーセライズ、ヒートセット、染色、毛焼き、仕上げまでである。

・システム境界

製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含む。産廃処理を含む。加工プロセスのため、加工される原材料ならびに加工された製品は含まない。

・配分

共製品なく配分なし

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、熱エネルギー、原油(原油)由来のCO₂(化石資源由来)、電力、系統電力(公共電力)由来のCO₂(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名		連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考
ユーティリティ	中間フロー	入力	公共電力	電力,公共	JP120001	1.97E+00	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	水	工業用水道	JP323002	2.00E-01	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	原油	燃焼・原油	JP104002	1.91E+00	L	
資源/原材料	中間フロー	入力	仕上げ薬剤	その他の他に分類されない有機化学工業製品		5.30E-02	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	その他(無機化学物質:酸、塩基、塩類)	その他の他に分類されない無機化学工業製品		1.05E-01	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	染料	直接染料	JP310333	3.20E-02	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	界面活性剤	陽イオン界面活性剤		5.30E-02	kg	
廃棄物処理	中間フロー	入力	工業排水処理	工業排水処理		1.90E-01	m3	
廃棄物処理	中間フロー	入力	産廃処理(染料残渣)	産廃処理(汚泥)		3.00E-03	kg	
水圏排出物	基本フロー	出力	SS			1.00E-05	kg	
水圏排出物	基本フロー	出力	BOD			2.00E-05	kg	
水圏排出物	基本フロー	出力	COD			2.00E-05	kg	
製品	中間フロー	出力	綿・ポリエステル反物の染色加工プロセス	綿・ポリエステル反物の染色加工プロセス	JP207012	1.00E+00	kg	